

百人番所（衛兵詰所）

これは江戸時代（1603～1867）から残るものの中で、最も大きな警護の詰所です。三の門と中の門の間に位置

するこの番所は、江戸城本丸への行き来を管理していました。その名称は、「100 人の衛兵が守る詰所」を意味しま

す。45 メートル長さの建物は、昼夜 4 交代で侍により守られました。各時間帯には、下級武士である同心 100 人と

上級武士である与力 20 人ずつが配置されていました。

写真の説明

1. 木戸の開いた百人番所